

2

288

2004年 2月号

THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

### 京都ウエストワイズメンズクラブ

## BAMBOO

強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う

### クラブ会長標語 プロジェクトW

会長 胡内順一 副会長 立山隆一 岩本敬子 書記 中原一晃 河合久美子  
会計 高野忠男 寺井幸生

#### 標語

国際会長 BeAgents of Change

~to meet the emerging challenge~

革命の担い手となろう~押し寄せる挑戦に応えるために

アジア会長 New Thinking New Action! ~新たな思想で新たな行動を

西日本区理事 Serve as a bridge for the future ~未来に架ける橋~

京都部部长 ワイズの森を大樹の森に~京都500を目指して

#### TOFF

国々の偶像は金や銀にすぎず人間の手で造ったもの。口があっても話せず、目があっても見えない。耳があっても聞こえず、鼻と口には息が通わない。偶像を造り、それに依り頼む者は皆、偶像と同じようになる。 詩篇135 15から18

#### TOFFの2月に思うこと

地域奉仕委員長 中村 豊



立春が過ぎ、日脚が少し長くなってきた中、メンバーの皆さん風邪を引かない様に気をつけて仕事にワイズに精を出して参りましょう。また我々の大切な仲間であるNワイズの病氣平癒と社会復帰を真剣に祈って参りましょう。ワイズでは例年2月はTOFFの強調月間となっています。そこで私なりの意見、

感想に一時、お付き合い下さい。

由緒来歴はともかく、今月はワイズメンが最も敬虔にまた真摯に「奉仕」を考える時期である事を、まず肝に銘ずべきかと思えます。いまから思えば、やむなく退会されたKワイズのTOFFに取り組む姿勢はワイズメンの鏡でした。ワイズはYに奉仕さえしていれば必要条件是満たされるものと考えられる訳ですが、ウエストの先輩先達の足跡を見る時、そのサービスだけに終始せず、他の

外部へも奉仕活動を展開してきた経緯に、我々は自身と誇りを持つべきであると思うのです。今でこそ平安徳義会と電話で行事の打ち合わせをしていますが、先輩に聞いた話では我々を信認してもらうまでには、種々の苦勞があった様です。そうした足跡の上に今日の徳義会との信頼関係がある訳で、我々はこれを一種の財産として、大切に保っていくべきものと考えます。人間の永い歴史の中では、それこそ原始の時代から病氣、災害、戦争、貧困で苦しむ人が絶えた時は、まずなかったでしょう。そうした中で人に手助けを差しのべる事は、キリスト教の教えがあるうがなかりうが、正常な近代市民であれば何の抵抗もないことは明白です。縁があって我々はワイズを知り、Yを知りキリスト教のほんの一部を知ったのですから胸を張って堂々とどしどし奉仕活動を進めていきたいものです。更にこうした活動を通じて、奉仕する我々もひいては近代的良心的な市民に成長して行く事になるのではないのでしょうか。それは取りも直さず、愛に満ちた許しのある優しい社会を作っていく事に繋がって行くのでしょう。よく言われる「世界平和」も、その実現にはこんな所にカギがあるのかも知れません。

#### 1月在籍者

|      |         |           |    |      |         |         |
|------|---------|-----------|----|------|---------|---------|
| 会 員  | 月例会     | 56%       | 切手 | 0.Pt | 第一例会    | 27,854円 |
| 23名  | メン 13名  | (メイキャップ誌) | 現金 | 0.Pt | 0円      | (ネットアド) |
| 広義会員 | ネット 2名  |           |    |      | 第二例会    |         |
| 2名   | コメント 1名 | 前月出席率     | 累計 |      | 20,000円 |         |
| 合 計  | ゲスト 3名  | 修正        | 切手 | 0Pt  | 累計      | ファンド    |
| 25名  | 計 19名   | なし        |    |      | 60,359円 | 年間合計    |
|      |         |           |    |      |         | 0       |

出席第一・時間厳守・環境問題についての意識改革、行動・親睦・奉仕